



## 吹奏楽部 ～みなのおもいを一つの音に～

吹奏楽部は昨年と一昨年に2年連続で高校Bの部門で東関東大会に出場を果たしました。今年度は残念ながら出場権を獲得できませんでしたが、まとまりのある素敵な演奏を聴かせてくれました。専門家の顧問がいない中、51人の部員が意見を出し合い、話し合い、3年次生がまとめて運営をしているそうです。



特別養護老人ホーム夏祭りでの演奏

そこで、部の幹部の部長の長東さん、副部長の菊地さん、生徒指揮者の西田さんと藁谷さんに話を聴きました。

○校長 ☆吹奏楽部幹部の皆さん

○東関東大会3年連続の出場ができなくて残念でした。

☆演奏中も、演奏後もやり切れた感じがあり、金賞だと思ったので、とても残念です。

○私も客席で聴いていて、これは行けたらと思ったので悔しい結果でした。ところで、皆さんにとって、吹奏楽の魅力はどのような点でしょう？

☆吹奏楽は部員みんなで作り上げていくもので、全員で奏でた音楽がそろったときの快感はたえようがありません。

☆自分の気持ちや、ここまで支えて来てくれた方々に感謝する気持ちを音に乗せて演奏できることが、素敵だと思います。

☆仲間と支えあい、相談をしながら活動できたことや、仲間の大事さを教えてもらったことです。

☆ぶつかり合ったり、意見を出し合ったりしながら、互いに受け入れてまとまった時、音楽を通して団結をできたことを感じて、やって良かったと思いました。

○緑園の3年間の吹奏楽の活動を振り返ってください。

☆1年生のときは部の雰囲気も明るくて、部活が楽しくて仕方がなかったです。2年になると、後輩と先輩の間に入る感じ

で、後輩への指導や接し方に悩んだり、先輩の言うことを理解し実行することで、考えることが多かった分、成長できた感じがします。3年になると、一人だけが頑張ってもだめで、全員で頑張れないといけない、下級生をまとめたり教えたりで責任感が強くなったと思います。

☆礼儀や挨拶の大事さを知りました。音楽面だけでなく人として本当に成長できた時間でした。

○後輩に伝えたいことは何ですか？  
☆今までの先輩がここまでこの素晴らしい部活をつなげて来てくれたので、私たちの良い部分はもっと伸ばし悪い部分は直して、伝統を継いでいってほしいです。

練習の最後には51人の部員によるミーティングが開かれ、誰もが発言をしていいことになっているそうです。3年だけでなく、1年も2年も拳手をして発言をしているそうです。良い演奏を目指して部員一人ひとりが妥協することなく集中していることが分かるエピソードでした。これからも、主体性と協調・協力の気持ちを持って突き進んでほしいものです。

## 地域交流～ダンス部が緑園夏祭りで発表～



8月2日(土)緑園連合自治会による「緑園夏祭り」が緑園東小学校で盛大に行われました。

地域のお祭りではありますが、本校ダンス部は毎年、出演をさせていただいています。発表の場の少ないダンス部にとって、人前で踊ることは貴重な機会です。緑園東小と緑園西小の合同のソーラン節の踊りの後で、お客様の反応が心配でしたが、元気一杯、明るさ全開で演技をしました。

体験的学びの経験を積ませていきたいと思っています。あわせて地域の方々にも喜んでいただけるような関係をもっと作っていききたいと思っています。社会に出て、フィールドに出て、本物や人と出会うことで、感動や好奇心をかきたて学びの質を豊かにしてくれたらと思います。

校長 遠藤 誠